

特別企画講演

時代を変える新しい摂食嚥下リハビリテーション： ハイブリッドアプローチ

●日時●

2025年4月27日（日）14時～15時30分

●方法●

オンライン開催（Zoom）

- 講師：西尾正輝，松原慶吾
- 定員：1000名（申込み先着順で，定員になり次第締め切らせていただきます）
- 参加費：無料（本研究会会員の有無を問わず，無料で参加できます）
- 主催：日本ディサースリア臨床研究会

【申込方法】

本研究会会員の有無を問わず，摂食嚥下リハビリテーションに携わる臨床家であれば，だれでも参加できます。学生の方も，医療福祉系であれば参加可能です。

下記 URL または QR コードよりお申込みください。

<https://forms.gle/fwL1ywfDsADXwptr6>

【申込受付】

2025年1月29日（水）20時～

【お知らせ】

参加用の Zoom URL は，追って申込時に登録されたメールアドレスにご連絡致します。

【お問合せ先】

日本ディサースリア臨床研究会 事務局

E-mail：gakujutsu@tama-riha.ac.jp ※お問い合わせはメールでお願い致します。



●開催趣旨●

従来，成人の摂食嚥下リハビリテーションは，脳卒中モデルに基づいて行われてきました。しかし，高齢化と共にサルコペニアの摂食嚥下障害患者の有症率が高くなり，放置できなくなると共に，超高齢化社会に対応した新たなモデルが求められるようになりました。すなわち，サルコペニアの摂食嚥下障害などを扱う高齢者モデルを構築する必要性が求められるようになりました。

そこで，演者らは，この度，高齢者モデルに基づいた摂食嚥下リハビリテーションと脳卒中モデルに基づいた摂食嚥下リハビリテーションのハイブリッド・アプローチとしての摂食嚥下リハビリテーション・モデルを構築致しました。

これに加えて，脳卒中後の摂食嚥下障害の病態の理解の仕方が近年欧米で大きく変化したことを受け，新しい脳卒中モデルに基づいた摂食嚥下リハビリテーション・モデルを構築致しました。

このようにして，演者らは，高齢者モデルと新しい脳卒中モデルのハイブリッド型の摂食嚥下リハビリテーション・モデルを提唱すると共に，摂食嚥下障害に携わるすべてのリハビリテーション関係者が時代に即した新しい効果のあるリハビリテーションへと移行し，本領域の発展にお力を注がれますことを期待し，ここに出版に先行して特別講演を開催致します。

日本は，卓越した研究者たちの努力の積み重ねによって，過去35年ほどの間に急速に本領域が発展致しました。しかし，本書をもって，日本の摂食嚥下リハビリテーションは新しく大きく飛躍することを願っています。

著者：西尾 正輝（日本海医療福祉研究施設）、森 隆志（総合南東北病院）、福岡 達之（広島国際大学）、松原 慶吾（熊本保健科学大学）、中山 慧悟（国立精神・神経医療研究センター病院）